

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2373100722		
法人名	有限会社 アートプロジェクト		
事業所名	グループホーム安城福釜の家 (1号館)		
所在地	愛知県安城市福釜町里添56番地3		
自己評価作成日	令和4年8月15日	評価結果市町村受理日	令和4年10月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2016_022_kami=true&JigyosyoCd=2373100722-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県新城市黒田字大岡132番地2		
訪問調査日	令和4年9月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

穏やかに、笑顔で日々暮らして頂けるように「ゆっくり、一緒に、楽しく」を事業所の理念としています。職員一同協力して利用者様が安心して生活出来るように支援させて頂きます。また、ご家族様、地域の皆様ともコミュニケーションを図り協力を得られるように努力していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設から21年となり、管理者も町内会の集まりに参加するほどで、地域の一員として受け入れられています。コロナ禍で現状はほとんど外との交流がなくなっています。管理者は16年、他にも14年勤務のベテラン職員がいますが、大半は10年以内で、しかも現状は2割が派遣社員となっていて、コロナだけでなく内部の報連相や介護の質の担保についても目配りする日々が続いています。内外に心配事がある状況なものの、利用者の平均介護度は1.5で、日中おむつの人もおらず、車いす使用も3ユニットで5名、浴槽をまたげないというのも2名で、利用者の壮健さにも助けられて「ゆっくり、一緒に、楽しく」が継続されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/> 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/> 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/> 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/> 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様に寄り添い、「ゆっくり、一緒に、楽しく」の理念を心掛け家庭的な穏やか雰囲気の中で実践に繋がっています。	開設から22年「ゆっくり、一緒に、楽しく」の理念は日々浸透しており、日常的には「慌てないようにしようね」「ゆっくりやっつけていこうね」との合い言葉が発信されています。職員もこのゆったりリズムと波長合う人が多くいることも幸いです。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	地域の清掃作業、町内行事に積極的に参加することで地域の皆様に施設運営を理解して頂く事に努めています。	地域からは年間の行事一覧が毎年事業所に届けられています。以前は成人式や盆おどりといった行事を見学することができていましたが、現在は管理者1名で出向く清掃作業が唯一の関わりとして、そこで情報交換を叶えています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	より多くの地域の皆様にグループホームを理解していただけるように、福祉まつり、地域ケア推進会議等に参加させて頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設の現状報告、問題点など情報交換をさせて頂き、意見、アドバイスを参考にサービス向上に活かしています。	運営推進会議は行政、地域包括支援センター、町内会長、民生委員をメンバーとして隔月開催が励行されてきましたが、コロナ対策として(利用者や職員の参加による)書面開催となっており、メンバーとは運推以外の場で会えており、会話をもつことはできています。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議、グループホーム部会や介護相談員、生活保護担当者に相談し現状を理解していただいて協力関係を築いています。	事業所では生活保護受給者の受け入れを上限なくおこない、安城市からはコロナをはじめ各種情報のeメール配信があり、また地域包括支援センターからも空室の問い合わせをもらえ、相互に協力し合っています。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は、職員が事故や危険が伴うと判断した時は施錠しています。身体的拘束適正化検討委員会を行い身体拘束の弊害を理解することで身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	身体的拘束適正化検討委員会を3ヶ月に1度開催できており、他の研修などの遵守事項も年度の取組みに位置づけています。ただ、委員会の検討事項については取組み内容に迷う面があり、推進に課題が残ります。	利用者本人の生い立ちや職業歴、家族関係も含み、その人の気持ちになってみて、「なぜそういうことをするのか」を話し合うだけでも(解決に至らなくても)、パーセントセンターケアにつながるのではないかと期待します。
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議、勉強会で虐待について情報共有を行い虐待防止に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護、成年後見人制度について社内研修で学ぶ機会を設け、理解を深めるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、改定時等十分な説明に心掛け面会時には御家族の不安をお聞きして必要な時は何度でも説明させていただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	集まったの運営推進会議を開催していませんが運営に関する意見、要望等を書面にて募っています。	年3回発行の「福釜だより」を通じて家族には生活の様子を知ってもらっています。世間には「お世話をしている」という姿勢の介護職も間々いる中、「いつもお世話になりありがとうございます」から始まる居室担当者の文面には誰もが和みます。	毎月家族に書面で報告(お手紙)が届くことを期待します(A4版が重荷なら最初はカード形式にしてもよいかと思う)。
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議で職員の提案したことは話し合い個人面談の機会も設けて反映出来るように努めています。	毎月職員会議の後に各ユニットに分かれ、ユニット会議でも協議を重ねています。ユニットリーダーはいませんが、フラットな関係の中で何でも言い合えており、毎朝の申し送りとノート記入、ホワイトボードの活用で洩れを防いでいます。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	無理なく勤務出来る様に、シフトの相談は受け入れています。勤務実績により処遇改善に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修の機会を増やし、資格取得のメリットを説明し職員のスキルアップに繋げている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム部会や研修会への参加の機会を作り、サービスの向上に繋がるよう取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化に戸惑いも不安も多いため軽減に心掛け本人の不安や要望に傾聴し安心を確保することに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族の考えや要望を尊重し受け止め、安心して頂ける様に信頼関係を築くように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に本人及び御家族との面談の段階で必要としている支援を見極めるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活で、ご自分で出来ることは見守りの中で可能な限りしていただきます。また、本人のペースで生活出来るように努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族には随時近況をお伝えし、情報を共有することで、御家族の協力を得て職員と一緒に支援していくことに努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で面会はガラス越しでの対応で電話、手紙等関係が継続出来るように支援に努めています。	硝子越しでの面会ができるようにしているものの、コロナの感染が怖く、「利用者に何かあったら困る」と考える家族が多いため、面会は減っています。利用者も「会いたい」という人もなく、どちらかというと職員を頼りとしている様子があります。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の行動や、会話を把握することで良好な関係が保てるよう努めています。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も御家族から近況の連絡をいただいたり、ご相談を受けたりと支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様、ご家族様の思いや、希望を、意向を伺い把握し可能な限り本人主体での支援に努めています。	入居間もない頃は家族が気にかけて、電話の本数が増えますが、事業所からは変調があるときのみとしています。家族も利用者も「これして」「あれして」がなく、意向が見えにくいため、思いがけず「アレ欲しい」と言葉にできるときは極力対応して希望に沿っています。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人、御家族からこれまでの暮らしの様子を聞きながら、少しでも馴染みの生活近づけるように寄り添っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり日々変化していく事柄も多く把握するためにも会話、行動に注意して現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人、御家族の意向をお聞きし、体調の変化など主治医、看護師と連携し介護計画に反映し現状に即した介護計画の見直しに活かしています。	改正により計画作成担当者は1名でよいこととなりましたが、事業所では各ユニット1名ずつ3名配置のうえ、内1名が介護支援専門員との体制を継続しています。本人の変化は家族に連絡していますが、電話や書面での定期発信はありません(通信は年3回)。	介護計画書の暫定版の段階で家族の意向を聞くことを面会時におこなっていたため、コロナ禍でその取組みが薄れている様子ですので、是正を期待します。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々介護記録を記入することで、職員間の情報共有を図り、支援の方向性を介護計画に反映出来るように努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御本人、御家族の状況の変化に伴い、その都度柔軟に対応出来るように取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍で地域の行事に参加する機会が減りましたが、参加出来ることを見つけることで地域の方との交流も生まれ、少しでも生活の範囲を広げられるように支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による月2回の往診に、歯科、眼科の往診にも対応できるように各医師との連携に努め、安心して生活できるように支援しています。	協力医の訪問診療は月2回あり、その日の勤務者が立ち会い、記録は「往診時報告書」に残し、共有しています。歯科医、眼科医とも連携があり、何かあれば往診が叶うことはコロナ禍において強みです。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職が気付いたことを、看護師、主治医に相談することで、早期発見、適切な処置、受診につなげられるように努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時、退院時の情報交換を医療機関担当者と密に行い利用者様の状態を正確に把握するように努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早期から御本人、御家族、主治医、介護職員で話し合い、事業所で出来ることを説明し理解していただき利用者様、御家族の要望を尊重した支援に努めています。	安城市や法人本部からはコロナ禍における看取りのルールが示されておらず、事業所の判断で入室人数や対面時間などを取り決め、協力医など外部の支援も得てつつがなく見送るころができ、家族にも感謝されています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に研修、勉強会を行い、急変時、事故発生時に対応出来るようにマニュアルも整備し実践に備えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議等で、地域の方からのアドバイスや協力を受けながら、毎年2回の防災訓練を行い夜間想定訓練も実施しています。	春には夜間想定で災害訓練をおこなっています。2回目は11月を予定しており、水害想定で垂直避難の訓練を実施することになっています。垂直避難はとりあえず3階、さらに条件が整えば屋上にあがることもあります。	

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様に合った支援をし人格を尊重し傷つけないように丁寧な声掛けをし対応しています。	「福釜だより」は、職員が日頃の様子を手書きで綴り、利用者の笑顔の写真も掲載され、どの内容も利用者のことを大切に思っていることが伝わります。また、利用者の個人情報に関わる書類は鍵つきロッカーに保管され、管理者のみの取扱いとしています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普通の会話から利用者様の希望されている事柄に気付くこともあり、要望を叶えられるかを話し合いながら支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の生活歴、性格を理解、尊重し希望に添えるように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔を心掛け、着心地の良い物を選んだり利用者様の気に入った物を選ぶように支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好みに合った味付けに気を配り利用者様と可能な限り準備、片付けを行っています。	食材はメニューとともに業者搬入です。職員の中には料理が得意な人もいて、決まったメニューをそのままではなくアレンジして1品増やしたり、目新しい献立に変貌させています。おやつは市販品ですが、時にはホットケーキなど手作りのものが提供されています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量は毎食記録し、水分摂取の少ない方は職員で情報を共有し小まめに声掛けを行い水分量の確保に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い、就寝前には義歯を預かり洗浄を行っています。必要な方は歯科医に相談も行います。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表に記入し日常のパターンを把握ながらトイレへの誘導、介助を行い排泄の自立に向けた支援を行っています。	平均介護度は1.5で、日中おむつの人もおらず、車いす使用も3ユニットで5名と少なく、自力歩行でトイレに向かう人は珍しくありません。またバットの値上がりを受け、安価なものを吟味するなど、家族の経済的な負担についても考慮しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操、散歩、水分補給など個々にあった体調管理に心掛け、場合によっては主治医、看護師に相談し指示を仰いでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴を楽しみにされている方は多く、安全に入浴していただけるよう体調管理をし、利用者様のペースに合わせて支援しています。	以前には毎日全員お風呂という画期的なケアサービスが実現していましたが、現在は1日おきの入浴へと縮小しています(それでも他事業所の大半が週2日)。拒否の人もいますが、対応方法がいくつか確認できてきて、職員を大きく困らせることはありません。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の室温を個々の体調、季節に合わせて調整したり、照明の明るさに配慮するなどし、就寝前のトイレ誘導をし安眠出来るように心掛けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様に処方された薬の説明書はすぐに確認出来るようにしています。体調の変化があれば看護師、主治医に相談し早期の対応に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の興味のある事、嗜好品を把握して楽しみを感じ気分転換していただけるように支援し、役割を持ってやりがいがいのある生活が送れるように支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候、気温を考慮しながらコロナで外出に制限はありますが、手指消毒、マスク対策をして散歩等に出掛けています。	コロナ禍なもの、人けを避けてお正月には近所の神社でお参りをしています。普段は事業所の廻りを周遊する散歩に留まり、降りないドライブもできていませんが、利用者のなかには広い廊下を利用して歩行訓練をおこなう人もいます。	派遣社員が運転禁止のため降りないドライブが実現しないようですが、3日に2名でも1.5ヶ月の期間で全員が1度は戸外の景色を楽しめるため、実現への工夫を期待します。

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設内で買い物疑似体験をしていただき機械を作っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族からの手紙、電話を取り次いだり、御本人の希望があれば電話を掛ける支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除は毎日行い、整理整頓に心掛けています。季節に応じた写真や掲示物を利用者様と一緒に作ることで季節を感じていただけるように努めています。	コロナが始まってフロアには空気除菌装置、トイレにはジェットハンドドライヤーを法人本部が設置しています。換気は午前と午後、排煙窓を開けておこない、随時消毒液で手すりなどのコンタクトポイントを拭いて、共用空間の清潔を護っています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりの体調、歩行状態等を考慮しつつ希望を伺いながら、気の合う方と楽しめるように雰囲気作りに配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人が落ち着き、且つ安全にくつろげるように、なるべく使い慣れた物や好みの物を活かして過ごせるように、御家族とも相談させていただいています。	コロナ禍の中、伴侶を亡くなられた利用者もおり、家族は「忘れないように」と遺影や家族写真を届けてくださっています。仏壇を置いている人は毎日職員の支援を得てお茶を供えており、少し前までは「お仏供(おぶく)さんも」と、ご飯もあげていました。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心、安全に生活していただくよう環境整備を行って、表示等を大きくしたり、出来ることを危険のない範囲で職員が見守りながら支援しています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2373100722		
法人名	有限会社 アートプロジェクト		
事業所名	グループホーム安城福釜の家 (2号館)		
所在地	愛知県安城市福釜町里添56番地3		
自己評価作成日	令和4年8月15日	評価結果市町村受理日	令和4年10月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kazokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhyou_detail_2016_022_kami=true&JigyosyoCd=2373100722-00&PrefCd=23&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県新城市黒田字大岡132番地2		
訪問調査日	令和4年9月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

穏やかに、笑顔で日々暮らして頂けるように「ゆっくり、一緒に、楽しく」を事業所の理念としています。職員一同協力して利用者様が安心して生活出来るように支援させて頂きます。また、ご家族様、地域の皆様ともコミュニケーションを図り協力を得られるように努力していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設から21年となり、管理者も町内会の集まりに参加するほどで、地域の一員として受け入れられていますが、コロナ禍で現状はほとんど外との交流がなくなっています。管理者は16年、他にも14年勤務のベテラン職員がいますが、大半は10年以内で、しかも現状は2割が派遣社員となっていて、コロナだけでなく内部の報連相や介護の質の担保についても目配りする日々が続いています。内外に心配事がある状況なものの、利用者の平均介護度は1.5で、日中おむつの人もおらず、車いす使用も3ユニットで5名、浴槽をまたげないというのも2名で、利用者の壮健さにも助けられて「ゆっくり、一緒に、楽しく」が継続されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	<input type="radio"/>	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	<input type="radio"/>	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様に寄り添い、「ゆっくり、一緒に、楽しく」の理念を心掛け家庭的な穏やか雰囲気の中で実践に繋げています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の清掃作業、町内行事に積極的に参加することで地域の皆様に施設運営を理解して頂く事に努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	より多くの地域の皆様にグループホームを理解していただけるように、福祉まつり、地域ケア推進会議等に参加させて頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設の現状報告、問題点など情報交換をさせていただき、意見、アドバイスを参考にサービス向上に活かしています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議、グループホーム部会や介護相談員、生活保護担当者に相談し現状を理解していただいて協力関係を築いています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は、職員が事故や危険が伴うと判断した時は施錠しています。身体的拘束適正化検討委員会を行い身体拘束の弊害を理解することで身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議、勉強会で虐待について情報共有を行い虐待防止に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護、成年後見人制度について社内研修で学ぶ機会を設け、理解を深めるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、改定時等十分な説明に心掛け面会時には御家族の不安をお聞きして必要な時は何度でも説明させていただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	集まったの運営推進会議を開催していませんが運営に関する意見、要望等を書面にて募っています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議で職員の提案したことは話し合い個人面談の機会も設けて反映出来るように努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	無理なく勤務出来る様に、シフトの相談は受け入れています。勤務実績により処遇改善に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修の機会を増やし、資格取得のメリットを説明し職員のスキルアップに繋げている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム部会や研修会への参加の機会を作り、サービスの向上に繋がるよう取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化に戸惑いも不安も多いため軽減に心掛け本人の不安や要望に傾聴し安心を確保することに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族の考えや要望を尊重し受け止め、安心して頂ける様に信頼関係を築くように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に本人及び御家族との面談の段階で必要としている支援を見極めるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活で、ご自分で出来ることは見守りの中で可能な限りしていただきます。また、本人のペースで生活出来るように努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族には随時近況をお伝えし、情報を共有することで、御家族の協力を得て職員と一緒に支援していくことに努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で面会はガラス越しでの対応で電話、手紙等関係が継続出来るように支援に努めています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の行動や、会話を把握することで良好な関係が保てるよう努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も御家族から近況の連絡をいただいたり、ご相談を受けたりと支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様、ご家族様の思いや、希望を、意向を伺い把握し可能な限り本人主体での支援に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人、御家族からこれまでの暮らしの様子を聞きながら、少しでも馴染みの生活近づけるように寄り添っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり日々変化していく事柄も多く把握するためにも会話、行動に注意して現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人、御家族の意向をお聞きし、体調の変化など主治医、看護師と連携し介護計画に反映し現状に即した介護計画の見直しに活かしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々介護記録を記入することで、職員間の情報共有を図り、支援の方向性を介護計画に反映出来るように努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御本人、御家族の状況の変化に伴い、その都度柔軟に対応出来るように取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍で地域の行事に参加する機会が減りましたが、参加出来ることを見つけることで地域の方との交流も生まれ、少しでも生活の範囲を広げられるように支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による月2回の往診に、歯科、眼科の往診にも対応できるように各医師との連携に努め、安心して生活できるように支援しています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職が気付いたことを、看護師、主治医に相談することで、早期発見、適切な処置、受診につなげられるように努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時、退院時の情報交換を医療機関担当者と密に行い利用者様の状態を正確に把握するように努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早期から御本人、御家族、主治医、介護職員で話し合い、事業所で出来ることを説明し理解していただき利用者様、御家族の要望を尊重した支援に努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に研修、勉強会を行い、急変時、事故発生時に対応出来るようにマニュアルも整備し実践に備えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議等で、地域の方からのアドバイスや協力を受けながら、毎年2回の防災訓練を行い夜間想定訓練も実施しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様に合った支援をし人格を尊重し傷つけないように丁寧な声掛けをし対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普段の会話から利用者様の希望されている事柄に気付くこともあり、要望を叶えられるかを話し合いながら支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の生活歴、性格を理解、尊重し希望に添えるように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔を心掛け、着心地の良い物を選んだり利用者様の気に入った物を選べるように支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好みに合った味付けに気を配り利用者様と可能な限り準備、片付けを一緒に行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量は毎食記録し、水分摂取の少ない方は職員で情報を共有し小まめに声掛けを行い水分量の確保に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い、就寝前には義歯を預かり洗浄を行っています。必要な方は歯科医に相談も行います。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表に記入し日常のパターンを把握ながらトイレへの誘導、介助を行い排泄の自立に向けた支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操、散歩、水分補給など個々にあった体調管理に心掛け、場合によっては主治医、看護師に相談し指示を仰いでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴を楽しみにされている方は多く、安全に入浴していただけるよう体調管理をし、利用者様のペースに合わせて支援しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の室温を個々の体調、季節に合わせて調整したり、照明の明るさに配慮するなどし、就寝前のトイレ誘導をし安眠出来るように心掛けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様に処方された薬の説明書はすぐに確認出来るようにしています。体調の変化があれば看護師、主治医に相談し早期の対応に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の興味のある事、嗜好品を把握して楽しみを感じ気分転換していただけるように支援し、役割を持ってやりがいがいのある生活が送れるように支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候、気温を考慮しながらコロナで外出に制限はありますが、手指消毒、マスク対策をして散歩等に出掛けています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設内で買い物疑似体験をしていただき機械を作っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族からの手紙、電話を取り次いだり、御本人の希望があれば電話を掛ける支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除は毎日行い、整理整頓に心掛けています。季節に応じた写真や掲示物を利用者様と一緒に作ることで季節を感じていただけるように努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりの体調、歩行状態等を考慮しつつ希望を伺いながら、気の合う方と楽しめるように雰囲気作りに配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人が落ち着き、且つ安全にくつろげるように、なるべく使い慣れた物や好みの物を活かして過ごせるように、御家族とも相談させていただきます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心、安全に生活していただくよう環境整備を行って、表示等を大きくしたり、出来ることを危険のない範囲で職員が見守りながら支援しています。		

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2373100722		
法人名	有限会社 アートプロジェクト		
事業所名	グループホーム安城福釜の家 (3号館)		
所在地	愛知県安城市福釜町里添56番地3		
自己評価作成日	令和4年8月15日	評価結果市町村受理日	令和4年10月3日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	http://www.kaijokensaku.nhlw.go.jp/22/index.php?action=kouhou_detail_2016_022_kani=true&JigyosyoCd=2373100722-00&PrefCd=22&VersionCd=022
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社第三者評価機構 愛知評価調査室		
所在地	愛知県新城市黒田字大岡132番地2		
訪問調査日	令和4年9月13日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

穏やかに、笑顔で日々暮らして頂けるように「ゆっくり、一緒に、楽しく」を事業所の理念としています。職員一同協力して利用者様が安心して生活出来るように支援させて頂きます。また、ご家族様、地域の皆様ともコミュニケーションを図り協力を得られるように努力していきます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

開設から21年となり、管理者も町内会の集まりに参加するほどで、地域の一員として受け入れられています。コロナ禍で現状はほとんど外との交流がなくなっています。管理者は16年、他にも14年勤務のベテラン職員がいますが、大半は10年以内で、しかも現状は2割が派遣社員となっていて、コロナだけでなく内部の報連相や介護の質の担保についても目配りする日々が続いています。内外に心配事がある状況なものの、利用者の平均介護度は1.5で、日中おむつの人もおらず、車いす使用も3ユニットで5名、浴槽をまたげないというのも2名で、利用者の壮健さにも助けられて「ゆっくり、一緒に、楽しく」が継続されています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I.理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	利用者様に寄り添い、「ゆっくり、一緒に、楽しく」の理念を心掛け家庭的な穏やか雰囲気の中で実践に繋げています。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の清掃作業、町内行事に積極的に参加することで地域の皆様に施設運営を理解して頂く事に努めています。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	より多くの地域の皆様にグループホームを理解していただけるように、福祉まつり、地域ケア推進会議等に参加させて頂いています。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設の現状報告、問題点など情報交換をさせていただき、意見、アドバイスを参考にサービス向上に活かしています。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議、グループホーム部会や介護相談員、生活保護担当者に相談し現状を理解していただいて協力関係を築いています。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠は、職員が事故や危険が伴うと判断した時は施錠しています。身体的拘束適正化検討委員会を行い身体拘束の弊害を理解することで身体拘束をしないケアに取り組んでいます。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員会議、勉強会で虐待について情報共有を行い虐待防止に努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	権利擁護、成年後見人制度について社内研修で学ぶ機会を設け、理解を深めるように努めています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、改定時等十分な説明に心掛け面会時には御家族の不安をお聞きして必要な時は何度でも説明させていただいています。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	集まったの運営推進会議を開催していませんが運営に関する意見、要望等を書面にて募っています。		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員会議で職員の提案したことは話し合い個人面談の機会も設けて反映出来るように努めています。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	無理なく勤務出来る様に、シフトの相談は受け入れています。勤務実績により処遇改善に努めています。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人内外の研修の機会を増やし、資格取得のメリットを説明し職員のスキルアップに繋げている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム部会や研修会への参加の機会を作り、サービスの向上に繋がるよう取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	環境の変化に戸惑いも不安も多いため軽減に心掛け本人の不安や要望に傾聴し安心を確保することに努めています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御家族の考えや要望を尊重し受け止め、安心して頂ける様に信頼関係を築くように努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居時に本人及び御家族との面談の段階で必要としている支援を見極めるように努めています。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日々の生活で、ご自分で出来ることは見守りの中で可能な限りしていただきます。また、本人のペースで生活出来るように努めています。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族には随時近況をお伝えし、情報を共有することで、御家族の協力を得て職員と一緒に支援していくことに努めています。		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	コロナ禍で面会はガラス越しでの対応で電話、手紙等関係が継続出来るように支援に努めています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の行動や、会話を把握することで良好な関係が保てるよう努めています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居後も御家族から近況の連絡をいただいたり、ご相談を受けたりと支援に努めています。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者様、ご家族様の思いや、希望を、意向を伺い把握し可能な限り本人主体での支援に努めています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御本人、御家族からこれまでの暮らしの様子を聞きながら、少しでも馴染みの生活近づけるように寄り添っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	一人ひとり日々変化していく事柄も多く把握するためにも会話、行動に注意して現状の把握に努めています。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	御本人、御家族の意向をお聞きし、体調の変化など主治医、看護師と連携し介護計画に反映し現状に即した介護計画の見直しに活かしています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々介護記録を記入することで、職員間の情報共有を図り、支援の方向性を介護計画に反映出来るように努めています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御本人、御家族の状況の変化に伴い、その都度柔軟に対応出来るように取り組んでいます。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	コロナ禍で地域の行事に参加する機会が減りましたが、参加出来ることを見つけることで地域の方との交流も生まれ、少しでも生活の範囲を広げられるように支援しています。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	主治医による月2回の往診に、歯科、眼科の往診にも対応できるように各医師との連携に努め、安心して生活できるように支援しています。		
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	介護職が気付いたことを、看護師、主治医に相談することで、早期発見、適切な処置、受診につなげられるように努めています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時、退院時の情報交換を医療機関担当者と密に行い利用者様の状態を正確に把握するように努めています。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早期から御本人、御家族、主治医、介護職員で話し合い、事業所で出来ることを説明し理解していただき利用者様、御家族の要望を尊重した支援に努めています。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的に研修、勉強会を行い、急変時、事故発生時に対応出来るようにマニュアルも整備し実践に備えています。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	運営推進会議等で、地域の方からのアドバイスや協力を受けながら、毎年2回の防災訓練を行い夜間想定訓練も実施しています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様に合った支援をし人格を尊重し傷つけないように丁寧な声掛けをし対応しています。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	普通の会話から利用者様の希望されている事柄に気付くこともあり、要望を叶えられるかを話し合いながら支援しています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者様の生活歴、性格を理解、尊重し希望に添えるように努めています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	清潔を心掛け、着心地の良い物を選んだり利用者様の気に入った物を選べるように支援しています。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者様の好みに合った味付けに気を配り利用者様と可能な限り準備、片付けを一緒に行っています。		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量は毎食記録し、水分摂取の少ない方は職員で情報を共有し小まめに声掛けを行い水分量の確保に努めています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後に口腔ケアを行い、就寝前には義歯を預かり洗浄を行っています。必要な方は歯科医に相談も行います。		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表に記入し日常のパターンを把握ながらトイレへの誘導、介助を行い排泄の自立に向けた支援を行っています。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	体操、散歩、水分補給など個々にあった体調管理に心掛け、場合によっては主治医、看護師に相談し指示を仰いでいます。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	入浴を楽しみにされている方は多く、安全に入浴していただけるよう体調管理をし、利用者様のペースに合わせて支援しています。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	居室の室温を個々の体調、季節に合わせて調整したり、照明の明るさに配慮するなどし、就寝前のトイレ誘導をし安眠出来るように心掛けています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様に処方された薬の説明書はすぐに確認出来るようにしています。体調の変化があれば看護師、主治医に相談し早期の対応に努めています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者様の興味のある事、嗜好品を把握して楽しみを感じ気分転換していただけるように支援し、役割を持ってやりがいがいのある生活が送れるように支援しています。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天候、気温を考慮しながらコロナで外出に制限はありますが、手指消毒、マスク対策をして散歩等に出掛けています。		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	施設内で買い物疑似体験をしていただき機械を作っています。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御家族からの手紙、電話を取り次いだり、御本人の希望があれば電話を掛ける支援をしています。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	掃除は毎日行い、整理整頓に心掛けています。季節に応じた写真や掲示物を利用者様と一緒に作ることで季節を感じていただけるように努めています。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	一人ひとりの体調、歩行状態等を考慮しつつ希望を伺いながら、気の合う方と楽しめるように雰囲気作りに配慮しています。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御本人が落ち着き、且つ安全にくつろげるように、なるべく使い慣れた物や好みの物を活かして過ごせるように、御家族とも相談させていただきます。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安心、安全に生活していただくよう環境整備を行って、表示等を大きくしたり、出来ることを危険のない範囲で職員が見守りながら支援しています。		